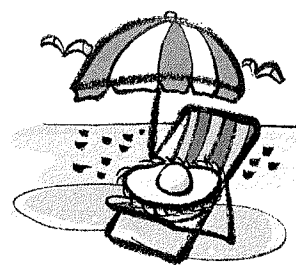


診断京都

No.73

(題字 品川相談役理事)

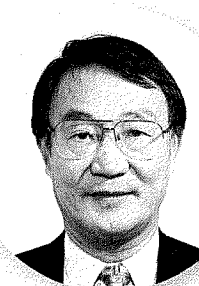
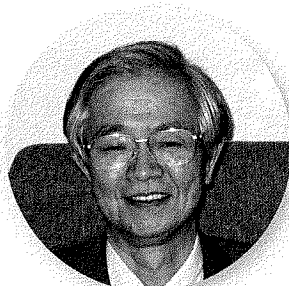
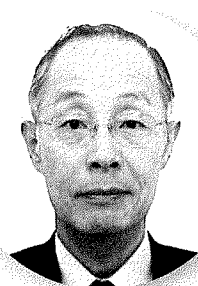
2003年 夏季号



社団法人 中小企業診断協会京都支部

安田支部長を再任

— 副支部長に岸田、玉垣、山崎の3氏 —



(左から、安田、岸田、玉垣、山崎の各氏)

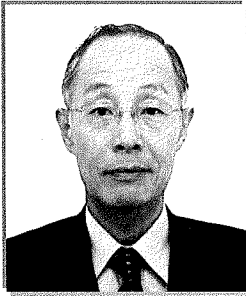
5月31日(土)、ホテル・オークス京都四条において、第44回通常総会が開催され、平成14年度事業報告書ならびに平成15年度事業計画書(案)が満場一致で可決されました。

また、引き続き行われた、任期満了に伴う役員改選において、安田支部長を再任するとともに、新役員が下記のとおり決定されました。

支部長	安田 徹	理事	上島 政樹	上田 清	岸田 道彦
			木津 要三	坂田 岳史	坂本 淳
副支部長	岸田 道彦		品川 弥太男	杉原 潔	辻井 功
	玉垣 勲		玉垣 勲	鳥井 浩三	中路 悦雄
	山崎 忠夫		西河 豊	藤原 正樹	松田幸之助
常任理事	辻井 功		松野 修典	村上 薫	安田 徹
	西河 豊		山岡 正勝	山崎 忠夫	山脇 康彦
	松田幸之助		横倉 幸司		(以上22名)
	村上 薫	監事	泉 博		
	山脇 康彦		田中 孝		
相談役理事	品川 弥太男		山田 順一郎		
	木津 要三				

〈敬称略、順不同〉





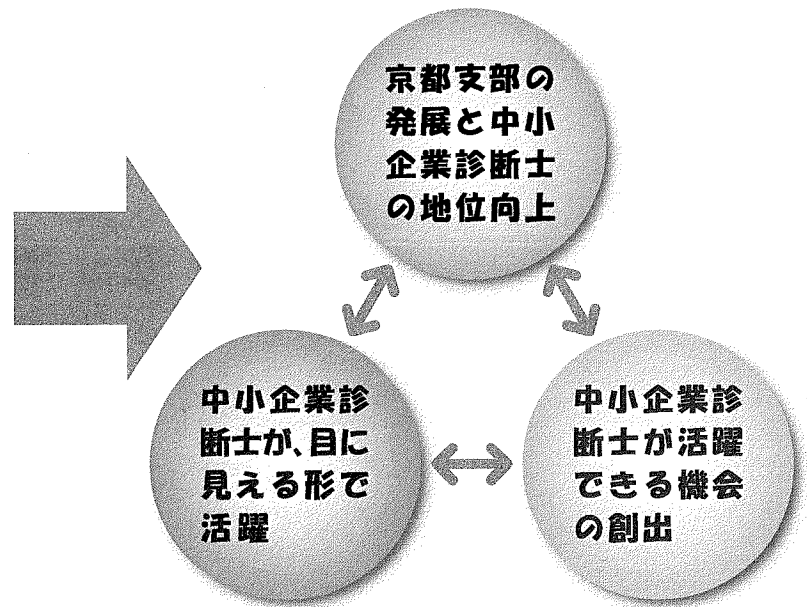
“京都支部の発展と 中小企業診断士の地位向上”を目指して

社団法人 中小企業診断協会京都支部

支部長 安田 徹

平成15年度は、昨年度にもまして官民を問わず関係団体との連携ならびに会員同士の企画事業等を推進していくことで、京都支部の発展と中小企業診断士の地位向上を目指す。

- ・多くの会員による支部事務所の活用（会議、研修、交流会などの活動拠点として）
- ・多くの会員による支部事業への参画（会員の、会員による、会員のための京都支部）



平成15年度の主な事業

1. 政府指定法人事業に関する業務

4. 全国経営診断研究会等への参加

2. 本部推進事業

5. 経営革新支援に関する研究会の開催

3. 中小企業関係諸機関・諸団体との提携

6. PR活動の推進と会員サービスの充実

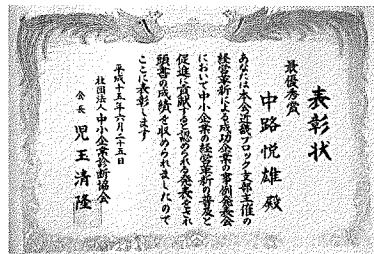
平成15年度の主な行事日程・予定

月	主な行事テーマ	月	主な行事テーマ
4	経革研	10	理論政策更新研修、兵庫支部交流会、経革研
5	支部総会、経革研	11	診断実務研修、会員研修、経革研
6	経革研	12	経革研
7	経革研(第200回)	1	新年祝賀会、会員研修
8	理論政策更新研修	2	経革研、ビジネスパートナー交流会出展
9	実務能力更新研修、経革研	3	経革研

(経革研:経営革新支援研究会の略、兵庫支部との交流会は、予定)

(株) 大美堂印刷社

～ 製版、印刷のデジタル化で、黒字経営に転換 ～
 中路 悦雄

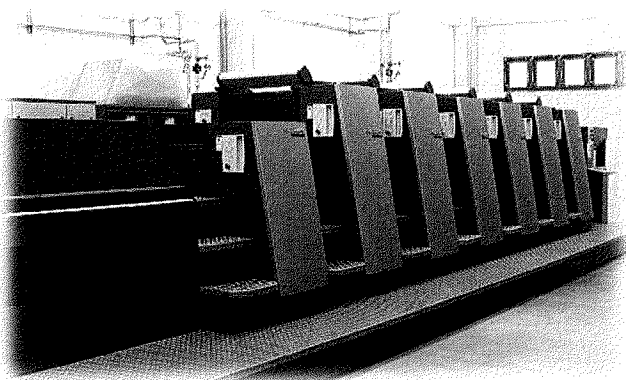


映画「男はつらいよ」でご存知、あの寅さんの実家である草餅屋「とらや」の裏にあるのが、「タク社長」の印刷会社。「今日も資金繰りが苦しくて…」なんて愚痴っている。寅さんとは、「おまえみたいなフーテンに中小企業の経営者の気持ちが分かってたまるか…」などとケンカをしている。たまに工場の中が映るのですが、機械が所狭しとおいてあって、まるで中小製造業の代表というところなんです。印刷業は3Kと呼ばれ、最近は少しだけきれいになりましたが、状況はどれもタク社長の印刷会社と大差ない、というところなんです。

経済産業省発表の工業統計をみても印刷業界全体の売り上げは7兆円を割り込み、5年間で1兆円ほど減少しました。中心が50人から100人の事業所ですから、たいへん中小企業性の高い産業であることがわかります。また印刷産業は典型的な受注型産業で、見込み生産ができず、顧客からの発注があって初めて生産開始できるので、マーケティングや提案型営業展開のとりにくい業種であります。

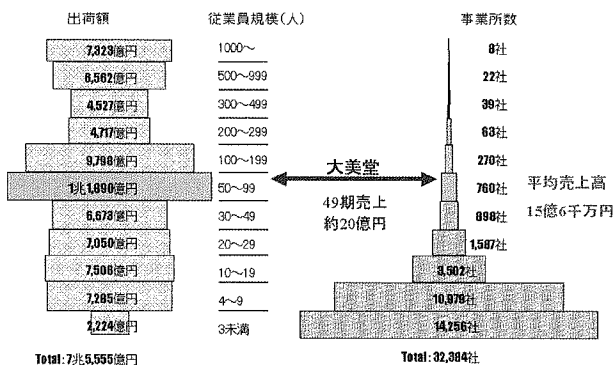
さて今回の事例「大美堂印刷社」は阪急西京極駅近く、徒歩6分のところにあり、創業53年の印刷会社で従業員は80名です。1999年から3年連続赤字、売り上げは98年をピークに減少し続け歯止めがかからない。印刷機を並べて印刷だけを請け負う典型的な刷り専門の形態、従業員は高齢化して平均年齢42歳、10年間設備投資をしていないため老朽化した設備、特長のない魅力のない印刷会社になってしまった、等々枚挙のいとまがない。だからこそ経営革新が必要なのです。

経営革新を着実に実行するために、各部門長と経営トップのメンバーで月に一回、土曜日に徹底的に議論して結論を出し、即実行に移す「経営戦略会議」を実施



しました。まず赤字の体質はなぜか、どこにあるのかを徹底分析しました。この会社は外注依存が高く、加工高比率(売り上げから原材料の紙と外注費を引いた残り)が50%を割って45%程度しかない。100円の売り上げに対して手元に入るのが45円しかない。そこから人件費、販管費を引くのですから、売り上げが落ちているのにこの状況を何とかしなければ儲かるわけがない。まず経営幹部に認識を徹底して、外注費削減策を検討しました。製版工程の電子化と内製化で「経営革新支援法」を申請し、2001年春に受理されました。デジタル印刷機と全自動刷版出力機(CTP)をすぐに導入した結果、製版の内製化によって加工高比率が2%改善し、経営革新初年度になんとか黒字化に成功しました。

国内印刷業/従業員規模別出荷額・事業所数(98年工業統計表)



更にBEST50社の売り上げ動向やSWOT分析を行いました。印刷でも広告宣伝物は市場が縮小傾向にあるのに対して、ラベル、POPなどの産業用資材に近い商品はむしろ拡大傾向にあることがわかりました。元々この会社は「ユボ」とよばれる合成紙への印刷が得意でした。そこで得意領域を更に伸ばすために、紙以外の素材、PETやフィルムなどへの印刷が可能なUV印刷機(紫外線硬化型インキ用印刷機)の導入を決め、経営革新支援法に追加申請しました。申請が受理され、経営革新計画2年目に導入し、更に加工高比率が2%改善、外注費は大きく削減することに成功し、2年目も黒字を計上することができました。

その他、年功序列型で硬直化していた人事・賃金制度を職能資格給制度に改め、また今年度はISO9001の取得を目指して、経営革新の5カ年計画を着実に実行しています。

**「第1回、近畿経営革新事例発表会」
中路会員 最優秀賞受賞!!**

6月25日(水)、大阪・東洋ホテルで(社)中小企業診断協会(以下、協会)近畿ブロック(大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫、和歌山)の「経営革新による成功企業の事例発表会」が行われ、京都支部の中路氏が見事、協会会長賞「最優秀賞」を受賞した。

本発表会は、近畿ブロックが協会初の試みとして行ったもので、次年度以降の継続開催ならびに、全国規模での展開に向けた波及効果が期待されている。

〈各賞〉

(社)中小企業診断協会会長賞 最優秀賞
京都支部 中路悦雄氏

「製版、印刷機のデジタル化で黒字経営に転換」

(社)中小企業診断協会会長賞 優秀賞
滋賀県支部 山本善通氏

「プライダルブーケ市場への参入」

近畿経営革新事例発表会 実行本部長賞
大阪支部 森下 勉氏

「テイクオフ大阪21による中小企業への支援」

兵庫県支部 近藤浩代氏
「地理情報システム開発・販売への転換支援」

企業内診断士のコーナー

企業内診断士のつぶやき



「趣味は家族サービス」と自己紹介し続けてきましたが、子供達も大きくなり、そろそろ宗旨がえの時期のようです。もうちょっと勉強でもしなさいという思召しでしょうか。ところで、勉強といえば、巷の講座や学校は、まだまだ企業勤め人のニーズに合っていないような気がします。大学院から公開講座や各種資格教育学校に至るまで、様々なものがあるにもかかわらずです。例えば、もう少し魅力的なランチコース型の教育サービスも、あっていいのではないのでしょうか。御手軽に賞味できて、それでいて味は本物、そして、じっくり戴こうということになれば、次はデイナーも、というような教育商品群です。また、企業・社会人向け教育学習の、良質なコーディネータがもっと活躍するようになってもいいですね。

中小企業診断士 松井宏次
大日本スクリーン製造 勤務

「経営品質研究会」発足

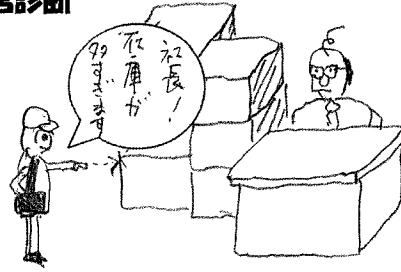
発起人：木津、佐々木、藤原(茂)の3氏
「企業の経営品質向上に向けて必要な知識能力を研究します。」多数の支部会員に参加をしていただきたいと思えます。

連絡先：E-mail ykpc3@mbox.kyoto-inet.or.jp
Tel/fax 075-983-3271 (木津まで)

△ 診断士君 ▽

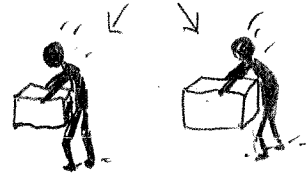
～在庫～ BY 西河 豊

経営診断

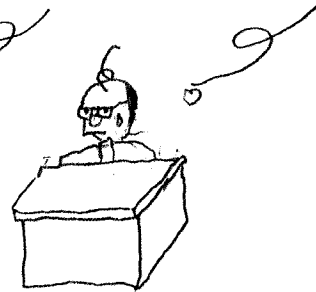


セッセ、セッセ!

(在庫を処分する社員たち)



ぴゅう～



教訓

在庫は多すぎると経営に支障をきたすが、少なすぎると経営者は不安になる。

(注) 診断士が書いてますので漫画はへたくそです。

診断京都

No.73

2003年7月30日発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東

京都産業会館内

TEL (075) 213-7980

FAX (075) 213-7981

メール smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp

ホームページ <http://www.joho-kyoto.or.jp/~rmckkyoto>

印刷所 (株)大美堂印刷社 TEL (075) 314-3111

FAX (075) 314-3122